

クリーニング業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	8～9	当社工場において朝掃除が終わり、ゴミ（約2.5kg）を捨てに行く途中、路面が凍結していることに気付かず、右足が滑り転倒し、右手首と右上腕部を強打し負傷した。	58	417	2	50～99
2017	1	12～13	シーツを投入中に投入したシーツに汚れを発見したため、取り除こうと手を伸ばした際に、機械に指をぶつけてしまった。	44	391	3	300～499
2017	1	9～10	事業所敷地内の工場の荷おろし場にて、トラックの荷台にあるラック（1760cm×1110cm×1500cm・約100kg）をフォークリフトで下ろす際、フォークリフトの届く位置へラックを移動させようとして、中腰でラックを押したところ腰部に激痛がはしった。	47	362	19	10～29
2017	1	18～19	商品搬入先にて、2階で商品搬入用リフトを1階より上げ内側のドアを開けたら床とリフトに段差があったので再度ドアを閉めて操作ボタンを押したがその際リフトが動かず、再度ドアをあけた際に突然リフトが1階まで落ち、そのときに床とリフトの間に左足の指（親指、人差し指）が巻き込まれ骨折をした。	25	214	7	30～49
2017	1	10～11	乾燥機（シェイキング）の排出コンベア上で、乾燥機とコンベアカバーのすき間にシーツが引っかかったため、取り除こうと、コンベア上で作業をしていた時に、コンベアを停止せず行っていたため、作業中に製品の落とし口として開いたコンベアが閉じて左足を挟んで	34	224	7	30～49

			しまった。被災当時、左足をコンベアのレールにかけて作業していた。				
2017	1	5~6	道路にて、退職者との業務引継中、トラック後部に向かう際、仕事の事を考えながら歩行中、道路脇の用水路に誤って右足を踏み外し落下し、用水路の土手に胸を打ちつけてしまった。	40	418	1	100 ~ 299
2017	1	17~ 18	おしぼり包装用フィルムをセットする際、左手を抜く前に切断ボタンを押してしまい、左手・中指・薬指をヒーターで挟んだ。	38	169	7	100 ~ 299
2017	2	13~14	当社工場でイージーホーク機（包布仕上投入機）で包布（203cm×300cm）の仕上作業中、ブザーが鳴った（包布にシワがあったことが理由と考えられる）ため停止させた。その後、再開ボタンを押したが、投入口（幅47cm、鉄製爪4本）が高さ140cmで停止したまま降りてこなかったため、確認しようとして手を出したところ、機械が降りてきて右手中指を挟まれ負傷した。	34	169	7	50 ~ 99
2017	2	10~11	クリーニング工場でズボンのプレス作業をしている時に、右手が挟まれ上記プレスされ火傷を負った。プレス作業は安全のためプレス機のボタンを両手で押した後、ズボンのずれに気づき、慌てて手を入れてしまった。	38	391	11	30 ~ 49
2017	2	14~15	階段を下りる時、段の踏み違い。	45	413	19	10 ~ 29
2017	2	11~12	当社工場1Fに於いて、包装機のビニール（ロール状）の交換作業のため、脚立に登ったところ、脚立の止め金が外れていたため約1mの高さから落下した。左半身、肩甲骨を負傷した。	43	371	1	—
2017	2	14~15	当社2Fシーツアイロナーの流し場において作業者の着ていた服が、機械に巻き込まれ、服に腕を締め付けられ非常停止になった。（原因）・巻き込まれやすいヒラヒラした服を着ていた。・巻き込み危険などの、認識が不足していた。	54	169	7	30 ~ 49

2017	2	12~13	工場内2階の食堂の流し場にて、昼休み中、食後の片付当番だったため、ポットのお湯を流しに流そうとしたところ、流しの隣なりに設置してあるガスコンロに右手首をぶつけてしまい、負傷したものである。	48	391	3	50 ~ 99
2017	2	15~16	日頃から両手がふさがった状態での移動に十分気をつけるように指導していたが、Yシャツハンガーを移動させる際に、両手でYシャツハンガーを持ち、別の置き場へ移動中に床面15cmからのステーに躓き転倒し負傷した。	65	417	2	30 ~ 49
2017	2	10~11	工場2階に受仕分け作業場にてエレベーターから上って来た回収コンテナを仕分け場所へ移動の際入口扉部分でコンテナと安全ポールにて指を挟み右手中指先端を裂傷した。	35	611	7	100 ~ 299
2017	2	19~20	2階からロッカーを3人で運び降ろしていた。真ん中を支えていたが、階段の幅がロッカーの幅とほぼ同じであったため、階段左にある壁の出ている部分を渡り、1階と2階の間の踊り場に飛び降りた。その際に左足のかかとを強打し、ひびが入った。	38	413	1	30 ~ 49
2017	2	16~17	コンテナより荷降ろし中、汚れ品（集荷袋入り）を持ち上げた際、腰に痛みを感じた。	33	529	19	100 ~ 299
2017	2	14~15	トラバースという横行する機械にセンサーが付いており、そのセンサーは通常商品がセンサーの位置に来たら、トラバースが動き出す様になっているが、トラバースベルトの皮がはがれていて、センサーに触れエラーが起こりそのベルトの皮を切ってエラーを解除したら、トラバースが動き出して足を挟まれてしまった。	63	169	7	50 ~ 99
2017	3	15~16	クリーニング工場内において、綿プレス機で白衣の横部分のプレス作業を行っていた際、本来は白衣を安全ピン等で固定してからプレス機のボタンを押すべきところ、急いでいたため手で固定して肘でボタンを押し、下がってきた熱板に右手を挟まれ火傷を負った。	52	391	11	30 ~ 49

2017	3	10~11	仕上がった商品一袋を左脇に抱え、工場に入るために左手でドアを引き右手で開いたドアを押さえようとした際に、強風でドアが勢いよく閉まったため、右手薬指をドアに挟み10針を縫う裂傷を負った。	53	419	7	50 ~ 99
2017	3	16~17	洗い終わった洗濯物を傾斜させたワゴンに取り出す時、ワゴンが不安定な状態で洗濯物が入り、上下にバウンドしたワゴンが肋骨にぶつかった。	22	362	6	100 ~ 299
2017	3	7~8	配達先の敷地内にトラックを駐車し、荷台の中で作業中に急いでいたため、回収したシーツ類に足を取られて転倒し、右足甲を骨折した。	50	221	2	50 ~ 99
2017	3	10~11	病院地下一階リネン室にて、納入されたアイテムを所定の場所に置く作業中に、ベッドパットの束の前でラバーシーツを置く為に身を低くして置く時に、ベッドパットの束（5枚）が頭上に落ちてきた。	66	611	4	1~ 9
2017	3	20~21	集配の為、直営店の駐車場で車から降りた時、店の旗立て台に躓いて転倒し、左手首を車止めに打ちつけ、骨折した。	63	417	2	100 ~ 299
2017	3	14~15	工場2Fに乾燥機4台あるうち、向かって右から2番目の乾燥機内で回転している被災者を発見した。発見時は乾燥機のスイッチは入ったままで運転中であり、その乾燥工程に付随する洗った洗濯物を乾燥機まで運ぶシャトルコンベアもスイッチは入ったままであった。原因は上記状態で何故進入、発見に至ったのか不明である。	65	169	7	30 ~ 49
2017	3	8~9	工場内の中2階荷物置場（仕上がった洗たく物を配達用に一時保管する場所）の開口部分から、従業員が枕カバー1包（17kg程）をクレーンで下に降ろそうとしたが、作動しなかったため、下にいた被災者と声をかけながら地面に落としていたところ、被災者とのタイミングが合わず、枕カバーが被災者の頭部首部にあたった。	45	611	4	30 ~ 49
2017	4	8~9	朝1軒目の客先で集品用バック2袋を回収し、移動中に回収バックに	60	611	2	100 ~

			足をひっかけて膝を床に強打した。				299
2017	4	8～9	工場内で乾燥機のゴミを取った後、左へ歩き出そうとして左を向いたとき転んだ。	65	417	2	10 ～ 29
2017	4	16～ 17	当社工場内の仕上げ作業場において、クリーニングの仕上がり品をゼットハンガーという大型のハンガーに掛けて最終の仕上げ作業をしている時、忙しく働いていた為、足元に気がいかず誤ってゼットハンガーの下部の足が引っ掛かり、顔面から転倒し、前歯（1本）折損・歯の根ヒビ（2本）・肩膝打撲を負った。	79	391	2	30 ～ 49
2017	4	13～ 14	作業場から通路に出ようとした際、ビニールカーテンの裾を踏んでしまい脚がからまり転倒し、左手と両膝を強打した。	54	379	2	300 ～ 499
2017	4	13～ 14	当社工場内にてバスタオルを機械に流した後、グリーンを流す準備をしたところ、1枚多く流してしまったことに気付き右手で取ろうとし、機械の上に左手をついたところ、フェイスタオルのプッシャーに左手を巻き込まれた。	60	169	7	30 ～ 49
2017	4	11～ 12	工場2Fのセット職場で仕上げ職場から仕上がった品物がスチール棚に置いてあったので、その品物を持ってビニール包装機に向かう為、左側に体の向きを変え歩き始めた時、スチール棚の端の柱に右腕をぶつけてしまった。	53	419	3	100 ～ 299
2017	4	10～ 11	タオルたたみ機で使うカートに乾燥後のタオルを入れている作業をしていた所、後方のカートを他の人が動かした為にカートが左足ふくらはぎ下にあたり打撲を負った。	59	362	6	50 ～ 99
2017	4	17～ 18	ドライ工場出入口でタイムカードをついた後、駐車場へ自家用車を取りに行き工場前に停車したあと、一緒に帰宅する人達を呼びに工場に入る際、入口の段差につまずき転びそうになったため、入口の壁につかまった際に右二の腕を痛めてしまった。	68	417	2	100 ～ 299

2017	4	10～ 11	集配時、駐車場のくぼみに足をとられ挫きながら転倒した。	40	417	2	10 ～ 29
2017	4	16～ 17	お客様が商品を引き取りに来店され、店内にある商品を取りに行つてカウンターへ戻る時に箱に躓き転倒し、右手小指をき裂骨折する。	53	417	2	100 ～ 299
2017	4	14～ 15	フォークリフトで洗濯物をプラットホームに数台上げ終え、フォークリフトを停止させて上げた洗濯物を連流入場へ運ぶため、プラットホームに上がる際、フォークリフトの駐車場の反対側の階段を使用せず、地面から80cm程度ある所に飛び乗ろうと左足をのせた際に踏み外して転倒し、地面（コンクリート）に左足脛を強打した。	33	418	2	100 ～ 299
2017	5	17～ 18	商品の入ったプラスチック製の箱（縦36×横51×高さ30、重さ20kg位）を、トラックの荷台の上で積み上げる際に、背中に強い痛みを感じ動けなくなった。	26	611	19	100 ～ 299
2017	5	17～ 18	2階補修作業場において、作業終了のためアイロンの水タンクの栓を止めようとミシン台の椅子に上がった時、体勢を崩してイスから落下し、臀部と左手根部を強打した。その後、1階へ下りたが歩行中にめまいを起こして転倒し、床に頭を打った。	61	419	1	50 ～ 99
2017	5	18～ 19	業務終了後、3Fの事務所から帰宅のため階段を降りる時にバランスを崩し、前のめりに転げ落ち、頭・内臓・肋骨を打ち、手を着こうとして手首を骨折した。	56	413	1	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	おしぼりの配送中に、配送先のビルの階段を降りている際に残り2～3段のところで滑り、体のバランスを崩して階段下に着地し、右足首を捻って骨折した。	39	413	1	10 ～ 29
2017	5	9～ 10	当工場マット仕上室において、仕上げ作業に使用するエアチューブの廃棄処分の為、鋏を使用し空気を抜く作業をしていた。新しい鋏を使用しエアチューブを刺す作業をしていたが、誤って自身の右手親指と人差し指の間を刺してしまった。	62	364	8	30 ～ 49

2017	5	14～ 15	工場内連続洗濯機横で、連続洗濯機の栓が外れたと連絡があった為、確認しようと保全担当車と電話しながら屈んでいたところ、外れた栓の場所から噴き出してきた熱湯が頭からかかった。	39	169	11	～ 299
2017	5	14～ 15	工場両手にクリーニング仕上り品を持って運んでいたところ、足が躓き両手がふさがっていた為、肩から転んでしまった。	48	417	2	～ 99
2017	5	12～ 13	工場敷地内倉庫にて、クリーニングされたタオルを配送車に積み込むため、肩に担ぎ上げようとして持ち上げた際に製品の積まれた台車の一部が錆び落ちていて、その部品の金属に左腕を擦り切り傷を負った。	59	362	8	～ 299
2017	5	16～ 17	工場内の連続式乾燥機のエラーアラームが発生したため乾燥機を停止させ、機内を確認した。機内にはタオルが入っており、機内に身を乗り出してタオルをかき分けていたとき、移動式投入コンベアーが接近していることに気付くのが遅れ、移動式投入コンベアーと乾燥機に足を挟み込まれた。	47	224	7	～ 49
2017	5	9～ 10	工場内にて、ズボンプレス機の上部にあるスポットクーラーのホースが落ちかけていた為、脚立に乗って戻そうとした際に体勢を崩し、横にあった剥き出しのズボンプレス機の配管を右手でつかんで火傷を負った。	48	419	11	～ 29
2017	5	8～9	クリーニング工場内で、洗濯物を掛けるゼットバーの下を潜ろうとして跨いだ時に、足が引っ掛かり転倒し、左足膝の皿を割った。	55	379	2	～ 29
2017	5	13～ 14	脚立を使用して作業後に降りる際に、1段目の高さから地面に降りた時に左足を被災した。	51	417	3	～ 299
2017	5	17～ 18	工場作業終了後、2Fから階段で降りる途中、下から10段目位から転倒し下まで落ち、額を打撲し、こぶができた。意識はあり、会話	59	413	1	～ 500

			は可能であったが、動くことはできなかった。				999
2017	5	15～ 16	店舗で荷物（クリーニング仕上り分）を整理している時、両手に商品を持って移動している際に左足を挫いた様になり、バランスを崩して転倒し、左足首のくるぶしを骨折した。	57	417	2	100 ～ 299
2017	5	8～9	自社工場内で作業中、台車に載った洗濯物が入った大きな袋（20～30kg）を床に下ろそうとした際、袋が高さ約1.5mの台車の上から落ち、袋の隅に右手小指を引っ掛け、右手小指の第一関節を骨折した。	25	611	4	1～ 9
2017	6	10～ 11	会社工場内において、洗濯後の包布を床に広げられた運搬用ネットの上に置くために移動中、置いた後に戻るため歩いたところ、そのネットの端の部分に足（運動靴）をとられて転倒し、両手、両足、頭部を負傷してしまったものである。	64	379	2	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	作業中、シーツロール（プレス機）に手袋と手が挟まれて火傷した。	47	163	7	1～ 9
2017	6	16～ 17	Yシャツ梱包機にて作業をしていたところ、梱包機にビニール片がくっ付いていたので、梱包機の動作を止めずにとろうとした際、右手小指の先を挟んで負傷したものである。	65	169	7	50 ～ 99
2017	6	10～ 11	病院の寝具管理の作業中において、商品を作業カートに載せ移動中、ナースステーションの数メートル手前で足がもつれ、バランスを崩し転倒してしまった。その際に、前頭部を殴打し切り傷ができ、転倒した際に左手を廊下についたところ、小指を殴打してしまった。病院内での出来事なので、すぐに治療となった。頭部打撲については脳神経外科で、前頭部の外傷については処置を終え、その後、問診とレントゲン検査を実施し、異常なしとの診断が出た。左手の打撲については、ヒビが入っていたので、継続治療になった。	62	417	2	100 ～ 299
2017	6	17～	信号待ちしていたところ、後方車に追突された。	67	231	17	100 ～

		18							299
2017	6	15~16	当社において、商品点検中、再洗いのワイシャツ1枚を見つけたので、それを置く所定の場所まで移動中、光配線のコード覆いの鉄板に足を躓き転倒した際、そのワイシャツを持っていた為と、自分の身体も右手で支えた為に、右眉毛と両手を強打し負傷した。	66	417		2	1~9	
2017	6	8~9	事務所手前下の所（少しスロープになっている）で、事務所からつり銭を取って店舗へ戻る時に、左足を捻り転倒し負傷した。	61	417		2	1~9	
2017	7	8~9	洗濯物の集荷中、階段の2階から、集荷物を投げ下ろしていたところ、投げた際に左腰に激痛が走り、そのまま動けなくなった。すぐに救援を呼び、通院することとした。	34	921		19	~	100 299
2017	7	7~8	自宅より勤務先の病院へ通常の経路を通勤中、病院前でバスを下車し、徒歩で病院の職員用通用口へ向かって階段を下っている際、雨の影響で足元が滑りやすくなっていたこともあり、接地した足を滑らせ転倒し、右足首靭帯を損傷した。	26	413		2	~	100 299
2017	7	14~15	工場内において、平面包装機に包装用のナイロンを補充しようと巻き取り機械で作業中、ローラーのスポンジ部分に右手小指の爪が引っ掛かり、巻き込まれて爪の根元が割れた。	29	121		7	~	30 49
2017	7	13~14	荷降し先での作業中、カゴ台車に約200kg（11kg×18ケース）の荷物をトラックから引っ張り出す際に、トラックの荷台が倉庫の床より15cm位高かったため、鉄板を敷いて段差を無くしたが傾斜ができてしまい、カゴ台車ごと転倒し左足大腿部を骨折してしまった。	48	362		6	~	100 299
2017	7	11~12	車輛を運転中、脇見運転をしたことにより渋滞中の車列に後方から追突してしまい、運転席に下半身を挟まれ救急隊により救出されたが、左膝及び腰にケガを負った。	23	362		4	~	100 299
2017	7	13~14	工事内3階の浴衣フォルダーで製品がつまり機械が停止したので詰まった浴衣を取っている時に他の従業員が確認をせずスイッチを押してしまい機械が動き出し左腕を挟まれ負傷した。	49	169		7	~	100 299

2017	7	7~8	ホイストクレーンで積み荷をあげようとした際、チェーンに緩みがあったため、指で押さえた時にクレーンのフックと積み荷の帯の間に左手親指を挟み受傷。	70	169	7	10 ~ 29
2017	7	8~9	工場内2号機で始動のためワックス布を通していている時つまったので取り除こうとロールとホルダーの間に入り布を引っぱった時体勢が整っていなかったためロール下の蒸気配管に接触し火傷するに致った。たいしたことはないと思い、そのままにしていたが腫れが広がってきた。	48	311	11	100 ~ 299
2017	7	14~15	当社工場内に於いて仕上げするためのカッターシャツの束を抱えて移動中、濡れた床で滑り体の右側から転倒し右手首を骨折負傷した。当初は痛いまま仕事を続けたが、翌日の日曜日になっても痛みが治まらなかった。	64	416	2	30 ~ 49
2017	7	17~18	被災者が屋根の上で雨漏り箇所の点検を行っていてバランスを崩して、足をついたところ、穴が空いて落下した。頭部を強く打ち、頭蓋骨を骨折した。	31	415	1	50 ~ 99
2017	7	7~8	早出出勤で機械のスイッチを入れるため通路を歩いていたところ床がミスト機（熱中対策用）の水で濡れていたため、足が滑り左太ももと臀部を強打した。	40	417	2	50 ~ 99
2017	7	19~20	クリーニング工場において、Yシャツ等の水洗い衣類をプレス機で、衣服を整え後、スイッチを押す作業であるが、誤って左手をのけずに押ししまい、一瞬の間プレス機に挟まれてしまった。ハッとして、安全スイッチで停止したが、左手の甲と指3本をやケドしてしまった。	50	169	11	1~ 9
2017	7	17~18	第3工場積み込み場で、他車がプラットホームに止まっていたので横付けできず、空いたスペースで積み込みを開始した。タオルを積んでいるカゴ車をホーム下からホーム上を移動させ、向きを変えようとした時に、ホームからカゴ車が落下して顔面に被災した。	33	611	4	100 ~ 299
			乾燥機から衣類を出そうと一步を踏み出した時に足を捻り、腫れ				1~

2017	7	10~11	た。レントゲンの結果、靭帯損傷と骨折していた。	50	419	19	9
2017	7	12~13	工場での休憩時にお腹が痛くなりトイレに行こうと歩き出したところ、急に意識を失って転倒し、顎を地面に打ちつけて骨折した。	54	417	2	10 ~ 29
2017	7	10~11	クリーニング工場内でシャツをプレスするためにプレス機を扱っているときに、プレス機上部を上下させるスイッチに近くにあったハサミを用い、下がらないようにしていたが、誤ってハサミがはずれ、プレス機に左腕を挟まれ火傷した。	93	391	11	10 ~ 29
2017	7	9~10	工場でアイロンがけ作業中、来客があり接客のために店に出ようとして歩いている時、左足をひねった。段差やつまずいたのではない。	46	416	19	10 ~ 29
2017	7	16~17	事業部ロール部門において、包布を流している際に包布の端の部分が中に入っていた為に直そうと手をのばし、包布に手を入れてしまい、ロールバットの下に手が入ってしまった。それにより、左手に火傷を負い、現在治療の為に入院している。入院後火傷による左手指の切断の処理が行われた。	19	391	11	30 ~ 49
2017	7	8~9	当工場内において、2階から階段を下りて来たときに誤って足を踏み外し、残り3段目のところから床に落ちた。その際に両腕を骨折し、右脚を打撲負傷したものである。	76	413	1	1~ 9
2017	7	11~12	一般タオルラインにて、製品排出の籠出し作業を実施中、空籠を運搬しているときに、誤って室内履きの上に籠を乗せてしまい、転倒した。その際、左上腕部を床に強打し、剥離骨折で全治4週間と診断された。	51	362	7	100 ~ 299
2017	7	9~10	顧客先ホテルで、ランドリーバック（使用済のシーツ・タオル、約15kg）を台車に積む際、腰を捻った際に軽い痛みがあった。また、負傷当日に別の顧客先で、作業服置場のハンガーラックのハンガーに掛かっている白衣・ズボン（約40着）を横にずらして空スペース	47	379	19	100 ~ 299

			を作ろうと腰を捻ったところ、腰に強い痛みが生じた。				
2017	7	12～ 13	クリーニング工場内を移動しているときに、可動しているプレス機の台の上に手をついて歩き、プレス機に手を挟まれた。	60	169	7	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	病院1F資材課にて、看護師のユニフォームを病棟ごとに分ける作業中、ハンガーラックを納品場所に持ち込み、所定の場所へ掛け替える際、元々ユニフォームがぎっしり掛かっていたため、スペースを作ろうと左手で押えながら右手で広げる動作をしたとき、右脇に骨が歪んだような痛みが生じた。	50	921	19	500 ～ 999
2017	7	8～9	ホテルから返却された使用済みシーツを振り分けていたところ、浴衣が混ざっていたため、少し離れた浴衣用のカートに投げ入れようとした。安全柵に足を掛けたところ足が滑り落ち、目の前にあったカートで胸を打った。	63	611	2	100 ～ 299
2017	7	13～ 14	当社中2階で掃除機をかけているとき、並べて置いてあった浄水サーバー（約30kg）に誤ってぶつかり、その拍子にサーバーが倒れ掛かってきた。支えきれずに右側に転倒したところ、そこに掃除機があり、掃除機とサーバーに挟まれる格好になり、右脇腹と腰を打った。	55	391	7	10 ～ 29
2017	7	14～ 15	作業場内で2階に移動しようとして階段を上っていたとき、バランスを崩し、右手を階段の手すりにぶつけて負傷した。	56	413	3	100 ～ 299
2017	7	8～9	出勤途中、会社敷地内駐車場に自動車に到着後、15m程先の事務所へ行くため歩行中、路面が雨のため濡れていたため、滑って転倒し負傷した。	65	417	2	50 ～ 99
2017	7	10～ 11	工場内のズボンプレス機で、ズボンをセットしプレスボタンを押したとき、誤ってズボンと一緒に右手を添えたままプレスしてしまい、蒸気が噴出し、火傷を負った。	39	391	7	100 ～ 299

2017	7	7~8	営業先のホテル入口付近において、シーツ類の回収物がのった手押し台車をトラックにのせるため、トラックのリフトにのせて昇降後、両手で台車を引いたとき、足を滑らせて地面へ落下し、左背面を強打した。	51	221	1	10 ~ 29
2017	7	11~12	労働者派遣先にて、クリーニング済みのシーツや衣類を畳んでいたとき、目眩・頭痛・足のしびれ等が発生し、熱中症と診断された。	54	911	90	100 ~ 299
2017	9	15~16	商品の入ったプラスチック製の箱（たて36×横51×高さ30・重さ20kgぐらい）を積み上げる際に左手首を捻った。手首に少し違和感がある程度で痛みも無かったので、会社に報告せず業務を続けた。翌日は休みで手首の痛みは、昨日よりあったので、湿布をはって過ごしたが、次の日に起床すると手首の痛みがひどくなっており腫れもあったので、会社に報告し病院へ行った。	69	611	19	100 ~ 299
2017	9	11~12	工場内にて、連続洗濯機の1台でエラーが発生し、2階入り口よりはしごにて舞台上に降り、製品を取り除いて再びはしごに上がろうとしたときに舞台より足を踏み外し、約1メートル下の洗濯機の上部に背中から落下し、負傷した。	32	371	1	100 ~ 299
2017	9	14~15	荷物を台車に載せて運ぶ時にひもがほどけているのに、気が付かずひもをふんで台車を押し荷物を押さえている時に指が入り関節まで切れてしまい、軍手をしていましたがその軍手も切れた状態になった。	69	417	2	100 ~ 299
2017	9	8~9	当社1階屋外作業場において、段ボール箱を足で踏んで滑らして整理する作業をしている際に、段ボールの中に入っていたキュービティナー（ビニール容器）に足を滑らして転倒し、右足くるぶし付近を打撲骨折したものである。	45	419	2	30 ~ 49
2017	9	9~10	総合病院内で就労中、歩いていたところ躓いて転倒し、左肘を強打した。（障害物は特になし）	69	417	2	500 ~ 999

2017	9	16～ 17	工場内洗い場で、土曜日回収分の被洗物が月曜日に仕上げる時、多少臭いが残る為消臭剤（サニタイズ）という抗菌剤を洗濯機に入れようとして誤って足にこぼしてしまった。すぐに水で流せばよかったのだが、自宅に着くまでそのままにしていたので、やけどみたいになり痛くなった。原因は、サンダル履きで作業し長靴を履いていなかった為である。	34	519	12	10 ～ 29
2017	9	14～ 15	工場内仕上げラインにて、結束機の横にある台車に製品を載せ、立ち上がろうとした所、結束機テーブルの角に頭をぶつけた。	41	391	3	300 ～ 499
2017	9	10～ 11	工場内仕上げ室たたみ作業場付近にて、製品を取りに行こうとした時に、滑って転倒した。（床に物はなく濡れているなどもなかった）	52	417	2	300 ～ 499
2017	9	13～ 14	布団をかかえて上がり口へ移動しているとき、床に置いてあるケースにつまずきよろめいた、足を置いた所にビニールに包まれたシートがあり、そのビニールで滑って、前にあったサンテナーに顔をぶつけた。	57	379	3	—
2017	9	12～ 13	事業場内のクリーニング工場で、昼休み（3階休憩室で昼食）を終え、午後の勤務に就くため1階の作業場に戻ろうと階段を下ってきたところ、少しよそ見をしていて最後の段を踏み外し、1階床に右足をつきそこねて挫いてしまった。	52	413	3	30 ～ 49
2017	9	14～ 15	配送車（2t）の荷台後方で、トラックから降りようとした時、荷台後方のステップに足を乗せて降りようとした、ステップに左足を乗せた時に滑ってしまい、滑下して右手首をついて骨接した。	47	416	2	30 ～ 49
2017	9	15～ 16	工場のNロールにて、ジャンボックスを1人でひっくり返す時に、右膝に接触し打撲する（通常2人で行う動作を1人でやってしまった）。	62	379	6	100 ～ 299
		21～	店での業務が終わり、雨天のため雨合羽を着て原付バイクで敷地を				10

2017	9	22	出るとき、車止めの縁石に乗り上げて左に転倒し、被災した。	56	231	2	～ 29
2017	10	15～ 16	工場内にて、スチール棚の上にある段ボール箱を取るために脚立に上がって作業していたところ、脚立から降りた際、左足をついた時に肉離れをおこしたものである。	47	371	19	1～ 9
2017	10	17～ 18	伝票を届けるため作業場から事務所へ移動中、通路を歩いていた際、外が暗くなっていた為、雨が吹き込んで水たまりが出来ていたのに気が付かず、水たまりで足を滑らせ左膝から転倒し強打した。	61	417	2	～ 299
2017	10	8～9	工場内で一日中（実労働時間6時間45分）Yシャツのスリーブ作業を行ったところ、右手人差し指の付け根から親指の付け根、手首の筋にかけて痛みはじめた。さほど痛みが強くなかったものの、翌朝起きたら痛みが増し、腫れていたため病院へ行ったところ、炎症していると診断されたもの。	58	379	19	～ 99
2017	10	15～ 16	当社工場内に於いて、おしぼり洗浄用の連続洗濯機（高さ約180cm）に、おしぼりを追加投入する為、空のおしぼりケースを2段重ねた上に、おしぼりケースを持って乗ったときに、台にしたケースがずれて転倒し、右腰を地面に強打した。当日は痛みを我慢していた。 （通常は自動でおしぼりが投入されるが、乾燥により投入量が少なかった為、直接投入しようとした。）	53	371	1	300 ～ 499
2017	10	13～ 14	本社工場の1号たたみ機（ホルダー）に布団カバーが詰まり、機械が停止したので、側面の機械カバーを外して、詰まっていた布団カバーを取り出した後、確認のため機械の側面は外したまま機械の再運転を行った。確認後、機械のカバーをはめる際に、機械を動かしたままにし、また、カバーの持ち手以外の所を持ってはめようとしたため、誤って右手人差し指が駆動チェーンに触れ、事故が発生したものである。	32	169	7	300 ～ 499
2017	10	12～	クリーニング受付店舗内で、お客様が来店したため、椅子から立ちあがろうとしたところ、バランスを崩して転倒。その際に右手をつ	69	921	2	100 ～

		13	き手首を痛めたもの。					299
2017	10	14～ 15	第二工場生産部事務所近くの台車置き場にて、マットを入れておく為の台車が一杯になった為、台車の入れ替えをしようと引っ張ったところ、台車が重く動かなかったので、両手で思いっきり張った時に、足元の注意を怠り、左足の親指が轆かれてしまった。	30	362	7	～	100 299
2017	10	11～ 12	当社事業所内にて、クリーニングの仕上げ作業中に、高さ約1.9mの鉄製の空台車を手で押して移動中、キャスターが引っかかり、台車が不安定になり倒れそうになったため、咄嗟に左上半身でそれを支え、左胸部から肩付近を捻って負傷。	50	911	19	～	10 29
2017	10	9～ 10	処理工程からプラスチックの空箱を8段積み前方を確認しながら移動していた際、出勤してきた被災者が作業場所に来たため「通ります」と声をかけ被災者の後方を通過する時被災者が作業台下に自分のカバンを置こうとしゃがんだため空箱と接触した。	63	611	19	～	300 499
2017	10	12～ 13	3階作業場にて、綿プレス機を使用しての作業中、白衣の裾を直すためにプレス機の上においてシワをのばして降りるボタンを押した。この時に名前を呼ばれ、少しの間、脇目をした瞬間にプレス機が降りて右手の甲を挟んで火傷した。慌てて左手で上がるボタンを押した時、左手甲もプレス機（上ゴテ）にすれて火傷し負傷した。	40	169	7	～	10 29
2017	10	14～ 15	コインランドリーにおいて、乾燥機のコインメカがコインづまりを起こした。ランドリーワゴンに乗って、つまりを直す作業をしている際に横転した。その日は雨の日で、床や足場が濡れており、滑りやすくなっていた。	57	371	1	～	9
2017	10	11～ 12	店駐車場において、店舗内に忘れ物（伝票とカード）をしたお客様が、隣の釣具店に行かれるのが見えたので、忘れ物を渡そうと、店舗から駐車場に慌てて走って出たため、足がもつれて転倒し、右手をついた時に右手に体重がかかり、右手首を負傷した。	65	418	2	～	9
			当社店舗のある建物（テナントとして出店）の出入口付近でクリー					10

2017	11	15～ 16	ニング預かり品の荷降ろしをしていたところ、出入口の段差で足を踏み外し左足首を挫いた。終業後に病院を受診したところ骨折との診断を受けた。	37	417	2	～ 29
2017	11	16～ 17	本社工場において、ドライ洗濯機の溶剤を補充している際に、床に設置してあるドレン配管の保護モールに躓き、両手及び顔面から前のめりに転倒した。顔面に切傷等があったため、皮膚科へ当日通院し、整形外科へは様子を見てから、翌日通院することとした。両腕の骨には異常はなく、左手首を固定するギブスを装着された。	64	379	2	～ 299
2017	11	9～ 10	工場内のロールの脇で、トンネル乾燥機の修理作業をしている時に、コンベアの柵から下りる際、ミストの台の角に、頭をぶつけた。このことにより、頭部外傷、頭蓋内出血を負った。	36	419	3	50 ～ 99
2017	11	11～ 12	敷地内建物の東側、外に保管してあるのぼり旗をさすコンクリート製の土台（20～30kg）を約5メートル引きずり社用車の軽ワゴン車荷台に積もうと持ち上げた時に「ポキッ」という鈍い音とともに背中に激痛を感じ、地面に滑るように倒れ込んだ。救急車により救急搬送され診察を受けた結果、第二腰椎新鮮圧迫骨折であると分かった。	58	529	19	50 ～ 99
2017	11	11～ 12	出張先現場の木工作业場において、縦切り昇降盤使用時に、不注意で右手親指を刃に接触させてしまった。縦切昇降盤、カバーなしテレビ局の大道具（セット）の作成中、長尺物を縦切していたとのことである。	50	529	2	30 ～ 49
2017	11	16～ 17	店舗内において、移動中に店内のポールに頭部をぶつけそうになったため避けたところ身体のバランスを崩して転倒した際、床面に着いた左手手首部を負傷した。	71	379	2	1～ 9
2017	11	15～ 16	ユニフォームのたたみ作業中に連続した隣の作業台に移動したところ、作業台に前後の段差があり出っ張っていた側の作業台の脚に左足膝をぶつけ脱臼した。	27	379	3	100 ～ 299
			ホテル敷地内で、自車輛左横ドアから飛び降りた際に、縁石ブロッ				

2017	11	12~ 13	クがあり、足を置いた際に、縁石ブロックがぐらつき、転んで負傷する。	49	419	1	1~ 9
2017	12	8~9	通勤時に通用口から工場内に入ったところで強風で流され転倒し、その後、正面入り口のバリカー支柱に掴まった。立ち上がろうとした際に耐えきれず再度転倒し、道路まで飛ばされた。	51	719	2	30 ~ 49
2017	12	18~19	1Fエレベーターでキャスターを引きながら出る時、キャスターが他のキャスターにぶつかり、動く向きが変わり、持っていた左手首が無理に曲がってしまい、手首をけがしてしまった。	52	362	19	50 ~ 99
2017	12	8~9	タオル納品後、20段程の階段から転落し、頭と背中をぶつけた。手のしびれがあったので、整形外科で受診した。	49	413	1	10 ~ 29
2017	12	12~13	クリーニング工場の作業場で、カゴに入った衣類を両手でかかえ運んでいる時、床の上に置いてあったコンテナ（四角のカゴ）に気づかず、右足のすね部分をぶつけ出血した。	57	611	3	1~ 9
2017	12	11~12	大学付属病院本館9階の病院室内にて、2人1組にて行う退院ベッド清掃作業終了後、ベッドをフラットにする最中、背上げ部分を下げている最中に柵に左手を置いていた為、挟んでしまい手を引き抜こうとして柵と背板部分横マットレス止めの間で左手を挟み負傷したものである。	60	379	7	10 ~ 29
2017	12	7~8	通勤後、車を降りて会社の玄関に向かって歩いている時に地面が凍っていた為転んでしまった。その日は気温が低く、水が少し出ている箇所が凍ってしまっていた。消雪パイプから水が出ていたので解けているだろうと思い込み踏み出したところ実際は解けきれておらず滑って転び、左ひじに負荷がかかり骨折した。	57	417	2	100 ~ 299
2017	12	15~16	仕事が終わりに、帰宅のために店から出て、車に乗るときに店先の庭で雪のため滑って転び、手をつき骨折した。	70	719	2	1~ 9
			洗い作業後、乾燥機の掃除をしていた際に足を滑らせ、バランスを				30

2017	12	19~20	崩して落下した。右足で着地したあとに激痛がはしり、歩行不能状態になり、病院へ搬送された。	44	342	1	~ 49
2017	12	16~17	工場内を歩いていた際に、右足のつま先を段差（高さ7cm程度）に引っ掛け、前のめりに勢いよく転倒した。その際、受け身を取る間もなく、右膝と左肩を床に強打した。なお、災害時、両手は空いており、通常の徒歩のスピードで歩いていた。	63	417	2	30 ~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html